

中学2年生を対象にした 地理的な見方・考え方を働かせた授業実践

— 総合的に「地域」を捉えるために —

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 言語・社会科学系（社会）

土田 峻太

本研究の目的は、中学2年生を対象に地理的な見方・考え方を働かせることで社会的事象を多面的・多角的に考察をすることができるようになり、地域の特徴を説明することができるか否かを検証した。

結果として、地理的な見方・考え方を働かせることで、生徒は多面的・多角的に地域の特徴について考察し、地域像を総合的に説明できるようになったことを明らかにすることができた。

ただし、地理的な見方を獲得する際の学習活動や手立てを工夫する必要性も認識することができたため今後の課題としたい。また、歴史的分野や公民的分野なども含めた様々な単元で実践を重ね、生徒が獲得した知識を活用して社会の諸課題について考えていくことができるよう授業実践を行っていきたい。